APAYeNEWS

アジア・太平洋ＹＭＣＡ同盟月報 No.02/2010 年 2～3 月　　翻訳協力：山崎往夫

1.アジア・太平洋ＹＭＣＡ同盟常務委員会

2010年3月10-13日、アジア・太平洋ＹＭＣＡ同盟の常務委員会と関連会議が、香港中華ＹＭＣＡにて開催されました。世界ＹＭＣＡ同盟総主事バート・シャハ博士と米国ＹＭＣＡのブン・チン・タン氏を含む、地域内21のＹＭＣＡからおよそ100人のリーダーと代表が参加しました。3名の元アジア・太平洋ＹＭＣＡ同盟会長の谷川寛氏、フィリップ・クウォック博士、サミュエル・ステファン牧師たちに再会し、また共に集えたことは心温まるものがありました。アジア・太平洋ＹＭＣＡ同盟元総主事、タン・チ・キョン氏も参加しました。

第四ヵ年計画の焦点と目標に関する重要な決定と計画のいくつかを共有したいと思います。

・リソース・モビリゼーション・ワークショップは、今年の常務委員会の一部として行われました。各ＹＭＣＡ同盟がそれぞれの計画、フォローアップを発表しました。アジア・太平洋ＹＭＣＡ同盟は、Ｓ2Ｓキャンペーンを続け、2010年10月にはグローバル・フェローキャンペーンを開始します。ユース委員会のメンバーが、新しいＳ2Ｓビデオ・キャンペーンを予定しています。

・ジェンダーの公正委員会は、今年の9月にもジェンダー問題と関係ある事柄に関し多くの取り組むためにトレーニングとワークショップを提供します。また、委員会は、今年の世界ＹＭＣＡ大会でワークショップ/グローバルビレッジを行う予定です。

・地球市民トレーナーズ・トレーニングは、各国から2-3名のユースリーダー/スタッフが参加し5月25-30日にマカオで実施されます。このトレーニングの一部はＡＰＡＹ基金により財政的支援を頂いています。地球市民教育に関するワークショップは、世界大会でも行われます。

・6月に完成予定のグローバル・オルタナティヴ・ツーリズム・ネットワーク（GATN）が、紹介されました。GATNに加わるＹＭＣＡのためにトレーニング・ワークショップが行われる予定です。

・アジア・太平洋ＹＭＣＡ同盟パートナーシップ・プロジェクト（APP）は、現在13のパートナーが決まり、プロジェクトの詳細が話し合われています。

・ＹＭＣＡの運動強化は焦点の一つであり、カンボジア、東ティモール、インドネシア、ベトナムの強化をしています。いくつかのパートナーは、フォローアップの会議を4月19-21日スラバヤ（インドネシア）、6月24～28日にベトナム、そして、カンボジアのためには世界ＹＭＣＡ大会の間に会議が予定されています。

・ＹＭＣＡ運動強化のための助言システムが提案され、十分協議されました。アドバイザーたちの

重要性を説明しながら一般的なガイドラインが作られ、加盟国同盟に分かち合われました。

・第18回アジア・太平洋ＹＭＣＡ大会は、マレーシアのペナンで2011年9月6-10日に開催されますが、これに先立って9月4-6日に第2回アジア・太平洋ＹＭＣＡ同盟ユース大会が開催されます。

・平和と安全に関するプログラムは、南部・東南アジアのＹＭＣＡのためにスリランカで、10月25日から11月13日まで行われます。これには、10人のＹＭＣＡスタッフ・メンバーと他のエキュメニカル・グループから10人が参加します。

・主要なユース関連イベントは、以下の通りです。

5月25-30日　地球市民トレーナーズ・トレーニング、マカオ

7月14-16日　アジア・太平洋ＹＭＣＡ同盟ユースカウンシル、香港

7月16-19日　世界ＹＭＣＡ大会・ユースフォーラム、香港

10月19-24日　第3回アジア太平洋ユニ-Ｙ地域会議、フィリピン

・第28回アドヴァンス・スタディー・プログラムは、11月14日～12月11日まで香港にて行われます。

・その他、高齢化社会、気候変動、移住労働者、地球市民グローバル・オルタナティヴ・ツーリズム・ネットワーク、平和学校などに関するフォローアップ・プログラムが検討されています。

・次回の常務委員会は、2011年3月9-12日に予定されていますが、世界ＹＭＣＡ同盟常務委員会の日程により日程変更の可能性があります。

常務委員会のハイライトは、アジア・太平洋ＹＭＣＡ同盟理事長のパク・ジャイ・チャン博士（写真）のスピーチ、山田公平総主事による年次報告、そしてＹＭＣＡパートナーや世界ＹＭＣＡ同盟などへの挨拶が述べられたことです。また、世界ＹＭＣＡ大会に関する特別な発表もありました。総主事会議は3月9日に行われ、ユースの参画とリーダーシップ開発委員会は、最初の会議を同日に行いました。

この常務委員会に関する報告、資料などは、まもなく各国のＹＭＣＡ同盟にお送り致します。

＊日本からは長尾ひろみさん（世界Ｙ同盟常務委員）、西村隆夫さん（財務委員）、中村あずささん（ジェンダー委員）、伊藤剛士さん、田中あいさん、荒木勇麿さん（以上、ユース委員）が出席しました。

2．第 18 回アジア・太平洋ＹＭＣＡ大会

3月のアジア・太平洋ＹＭＣＡ同盟常務委員会にて、2011年9月6-10日に開催される第18回アジア・太平洋ＹＭＣＡ大会の会場がマレーシアのペナンと決定しました。マレーシアＹＭＣＡ同盟は、ペナンＹＭＣＡにローカルの受け入れ責任を割り当てました。これと関連して、準備委員会が作られ、下記の各々のサブ地域からの代表、ユース委員会やジェンダーの公正委員会のそれぞれの代表、及びアジア・太平洋ＹＭＣＡ同盟主任主事で構成されることを承認しました。

東アジア：Mr. Nam Boo-Won（韓国）

東南アジア：Mr. Jerry Choo Soon Haw（マレーシア）

南アジア：Mr. Duncan Chowdhury（バングラデシュ）

太平洋：Mr. Peter Malone（オーストラリア）

ジェンダー公正委員会委員長：Dr. Patcharawan Srisilapanan （タイ）

ユースの参画とリーダーシップ開発委員会議長：Ms. Maria Cristina L. Miranda（フィリピン）

また、サブ地域とアジア・太平洋ＹＭＣＡ同盟総主事を代表とした選挙管理委員会が構成され、承認されました。

東アジア：Ms. Hiromi Nagao（日本）　　東南アジア：Judge Edilberto Claravall（フィリピン）
南アジア：Mr. Joseph John（インド）　　太平洋：Ms. Helen McEwan（ニュージーランド）

アジア・太平洋ＹＭＣＡ大会の前に、第2回アジア・太平洋ＹＭＣＡ同盟ユース大会が、2011年9月4-6日にペナンＹＭＣＡで行われます。

次回の大会のためのホスト役を引き受けて頂いたペナンＹＭＣＡに対し感謝を申し上げます。また、スリランカＹＭＣＡ同盟がホストＹＭＣＡとして関心を示して頂いたことに感謝します。

3．5 月 25-30 日　地球市民トレーナーズ・トレーニング

あなたは、ＹＭＣＡで地球市民プロジェクトを始めようとしていますか？あなたは、地球市民教育のためのトレーナーとしての研修の機会を探していますか？アジア・太平洋ＹＭＣＡ同盟は、絶好の機会を提供します!

2010年5月25-30日、地球市民トレーナーズ・トレーニングがマカオで行われます。これは、地域でのＹＭＣＡ運動がさらに包括的な地球市民教育プログラムを開発し、効果的に地球市民教育プログラムをＹＭＣＡで実行するための技術を習得する機会です。ユースワークに携わるスタッフとユース・ボランティアが、このトレーニングに参加することが期待されています。プログラムの詳細はすべての国の同盟に送られており、私たちのウェブサイトでも閲覧可能です。*登録締め切りは2010年4月30日までです。*

＊日本からは、阿部真希さん（岡山Ｙ）、近藤麻衣さん（大阪Ｙ）、伊藤剛士さん（京大Ｙ）、横山由利亜（同盟）、中村絵乃氏（開発教育協会/DEAR）が参加し、日本の地球市民育成プロジェクト実施の経験からワークショップも行います。

4．ユース委員会がアジア・太平洋ＹＭＣＡ同盟の常務委員会に衝撃を与えました

今年のアジア・太平洋ＹＭＣＡ同盟常務委員会が、18人のユースと共に行えたことはアジア・太平洋ＹＭＣＡ同盟の歴史上での大成功でした。私たちのユースの強い存在、そして、会議を通じての彼らの活発な参加とリーダーシップは、非常に良い影響を与え、会議にもエネルギーを与えました。これは、私たちのユースの役割がすべてのＹＭＣＡの働きと活動にどれくらい重要で、関連するかについて証明しました。私たちは、私たちのユースの開発、リーダーシップ、参画を促す取り組みを支援し、この取り組みに応えて頂いた全てのＹＭＣＡに感謝します。ユースがローカルや国のＹＭＣＡ運動で活動しているように、私たちはアジア・太平洋ＹＭＣＡ同盟でこのユースのエネルギーと力を持続させるように、みなさんに協力をお願いします。

＊日本から参加したユースは伊藤剛士さん（京都大学ＹＭＣＡ）、田中あいさん（富山ＹＭＣＡ）、荒木勇

麿さん（学生ＹＭＣＡ）です。今回は出席できませんでしたが、黒澤伸一郎（横浜ＹＭＣＡ）も委員です。

5．最新ニュース

アジア・太平洋ＹＭＣＡ同盟パートナーシップ・プロジェクト（ＡＰＰ）

以下のＹＭＣＡは、アジア・太平洋ＹＭＣＡ同盟パートナーシップ・プロェクトの実施のためにご協力を頂きます。パートナーシップ・プロジェクトは、2010年4月から開始される予定です。

	プロジェクト実施ＹＭＣＡ	パートナーＹＭＣＡ
1	Marthandom、インド	香港中華ＹＭＣＡ
2	Trivandrum、インド	香港中華ＹＭＣＡ
3	Madurai、インド	Gyunk Prov、韓国
4	Patna、インド	アメリカＹＭＣＡ
5	Jamshedpur、インド	アメリカＹＭＣＡ
6	ネパール	日本
7	San Pablo City、フィリピン	Gyungnam Prov、韓国
8	Albay、フィリピン	日本
9	Makati、フィリピン	Wanganui ＹＭＣＡ、ﾆｭｰｼﾞｰﾗﾝﾄﾞ
10	Morotuwa、スリランカ	Victoria ＹＭＣＡ、オーストラリア
11	Valachchenai、スリランカ	Gwangju-Junnam Prov、韓国
12	Salatiga、インドネシア	Gyunggi Prov、韓国
13	Metro Jakarta、インドネシア	日本

S2S キャンペーン09

2009年、私たちはS2Sキャンペーンを開始し、およそ5,600米ドルを以下の同盟、グループや個人から頂きました。*私たちは、この募金を今年のアジア・太平洋ＹＭＣＡ同盟ユースカウンシルのために用います。*

6．エキュメニカル・ニュース

平和と安全に関するプログラムに関する最新ニュース：アイデンティティと葛藤に焦点

アジア・太平洋ＹＭＣＡ同盟とアジアキリスト教協議会が共同で行った異宗派間協力フォーラムプログラムにより2月1日から開催されている平和学校は、インドのバンガロールにあるVistharで行われ、参加者は14週間にわたるプログラムの最初の2つのモジュール、「自己、他者、コミュニティ」と「葛藤、暴力、戦争」を終了しました。平和学校のセッションは、神、ジェンダー、自己、グローバルな経済問題、女性に対する暴力に関する理解を深め、また参加者は2つのフィールド訪問をしました。1つのフォーラム劇と被抑圧者ワークショップの演劇が行われました。それは、参加者が最初のフィールド訪問について互いの感想を聞きあうため用いた演劇技術を伝えるためになされたものでした。平和学校は5月14日に終了します。バングラデシュ、ビルマ、カンボジア、インドネシア、ネパール、フィリピン、タイ、ヴェトナムからの20人が参加しています。

アジアキリスト教協議会総会　2010年4月クアラルンプールで開催

4月14日～21日、マレーシアのクアラルンプールにて、アジアキリスト教協議会（CCA）の第13回総会が行われます。総会は5年おきに開かれ、*「予言、調和、癒しへの招き」をテーマとし*、CCAの

諸プログラムと活動を検証し、CCAの将来の方向性を得ることを目的としています。総会の前の4月10日から13日には、女性の準備フォーラム、ユース準備フォーラム、ピープルズ・フォーラム、ＨＩＶ/ＡＩＤＳとともに生きる人々のフォーラム、アジア・エキュメニカル・コースなどのイベントが行われます。詳細については、http://www.cca.org.hk/13ga/index.htm.でご覧下さい。アジアキリスト教協議会パートナー団体の1つとして、アジア・太平洋ＹＭＣＡ同盟総主事の山田公平がアジア・太平洋ＹＭＣＡ同盟を代表して出席します。

＊有住航同盟スタッフが、ＮＣＣ青年委員として出席しています。

Ｙ・ケアー・インターナショナル　災害への対応準備計画

Ｙケアー・インターナショナル（YCI）は、地震などによる被災地支援に関心があるＹＭＣＡのために、ガイドとツールキットを開発しました。それは、プロセスを行うための実際的なガイダンスと支援を提供する準備計画です。スリランカＹＭＣＡの将来の非常事態に対応する能力増強の必要要請に対して、YCIは、2010年2月11～20日にコロンボとBatticaloaでスリランカＹＭＣＡとともにその災害対応トレーニング・ワークショップを行いました。20年以上の間、YCIとスリランカは、国内の異なる地域での多くのプロジェクトのためにパートナーシップとして活動してきました。クリスティナ・ダローペ氏がアジア・太平洋ＹＭＣＡ同盟を代表して、2月11-15日の第1回シリーズに参加しました。

7．おめでとう！ＹＭＣＡ創立記念日

台南ＹＭＣＡは、5月1日に設立55周年の記念祝典を行います。私たちの心からの祝意を！

*式典に、島田茂同盟総主事が出席予定です。

8．チリ地震被災者のための緊急支援

世界ＹＭＣＡ同盟とラテンアメリカ・カリビアンＹＭＣＡ同盟（LACA）は、チリの地震犠牲者に対する支援を行うための支援金として106,000米ドルを集めるために緊急共同アピールを行いました。詳細な緊急対応計画は、被災した7つのコミュニティの10,000人に支援することをゴールに作成されました。チリＹＭＣＡの建物も例外なくひどく損害を受けていますが、ＹＭＣＡは継続して安心を必要としている災害を受けたコミュニティに支援をしています。情報は、既に各国同盟に送られています。すべての募金と基金は以下の人々に送られたことを伝えてください。

Oscar Ordenes、チリＹＭＣＡ総主事、：oscarordenes@ymcachile.org

Miguel Blasco、LACAの副総主事：miguelblasco@lacaymca.org

Simon Pluess,世界ＹＭＣＡ同盟：simon.pluses@ymca.int

9．藤森元さんを追悼して

私たちの心からの哀悼の意を藤森元さんのご家族に表します。彼は去る3月15日に84才で亡くなられました。藤森さんは1970～1973年ＹＭＣＡ・アジア地域委員会主事として勤めました。当時アジア・太平洋ＹＭＣＡ同盟は、世界ＹＭＣＡ同盟のアジア地域委員会として知られていました。彼は、日本ＹＭＣＡ同盟主事としての多くの経験をもってこのアジア地域に来られました。彼の役割は、香港での地域主事の地域事務所を再建する事でした。

私たちは藤森ふさ子夫人と家族とともに、彼の人生とコミュニティにおける奉仕に対して神に感謝いたします。彼に平安がありますように。

10．世界ＹＭＣＡ大会　最新ニュース

世界ＹＭＣＡ大会コーディネーター、リチャード・ケイング氏報告

あと３ヶ月足らずで、世界中のＹＭＣＡボランティア、リーダー、ユースとスタッフが、第17回世界ＹＭＣＡ大会のため7月19-24日に香港に集います。大会のホスト運営委員会が、香港で初めて開催されるこの重要な世界的イベントの成功のために懸命に働いています。

世界ＹＭＣＡ同盟は、「いま、地球市民として生きるために」というテーマの下での124の国と地域のＹＭＣＡの活動を祝福する機会を提供します。この大会のハイライトは、スキル・ビルディング・ワークショップ、グローバルビレッジ、ＹＭＣＡの最先端の問題に関するフォーラム、文化の夕べ、インスピレーションを与える毎日の礼拝、及びローカルＹＭＣＡプログラムと重要な文化的で歴史上の地域の訪問などです。次の４年期のための職員と常務委員の選挙も行われます。

世界ＹＭＣＡ大会の前の3日間、2010年7月16-19日にユース・フォーラムが行われます。これは、彼らの暮らしとコミュニティに影響を与える地球的な問題に関して主張するユースに力を与えようとしています。新しい通信技術を用いて、香港に来ることができない世界の350人の若者は、大会に参加している若い代表との議論が出来ます。*より多くの最新情報のために、世界ＹＭＣＡ同盟のウェブサイトを訪問して*ください：www.ymca.int

＊日本からは約40名が参加予定です。最終締め切り間近です。詳細は日本ＹＭＣＡ同盟へお尋ねください。

11.新しいアジア・太平洋ＹＭＣＡ同盟ウェブサイト

2010年4月1日に、新しいアジア・太平洋ＹＭＣＡ同盟ウェブサイト（www.asiapacificymca.org）をオープンしました。ぜひご覧ください。しかしまだ試験的な運用の部分があり、下方で見られる以前のウェブサイトのリンクをつけています。

12．イベント/会議予定

５月25-30日　地球市民トレーナーズトレーニング　マカオ
７月14-16日　アジア・太平洋ＹＭＣＡ同盟ユースカウンシル　香港
７月16-19日　世界ＹＭＣＡ同盟　インターナショナル・ユースフォーラム　香港
７月19-25日　世界ＹＭＣＡ大会2010　香港

13．アジア・太平洋ＹＭＣＡ同盟総主事より

３月９日から１３日までは、アジア太平洋同盟の常務委員会と関連会議がありました。日本から島田総主事はじめ、長尾さん、西村さん、他４人のユースが参加しました。中村あずささん（ジェンダー委員、学Ｙシニア）、伊藤剛士さん（学Ｙ）、荒木勇磨産（学Ｙシニア）、田中あいさん（富山Ｙ）が参加しました。みなさん英語がしっかりできて、他の１０数人のユースと一緒にたくましくコミュニケーションをとりながら、全体にも貢献していました。ユースはみんなイップさんの住ん

でいたアパートにマットを敷いて雑魚寝をしました。それが互いの理解にもつながりみんな積極的にかかわっていました。日本からの若者がこんなにたくさん来てくれて、ユースの働きを強化してくれたことに感謝し、同時にたくましさを感じることができました。これは行けると思いました。

今回の常務委員会は、ワークショップを入れたこと、ユースが１８人（全体では約１００人の参加）、このユースが多くの場面で発表をしたり、さまざまな役割を担ったおかげで、ユースの活躍が思う以上に目立ったことはよい刺激になりました。ユースから出た意見は、ユースの意見というより、ＹＭＣＡを担う立場の意見でした。たくましさとその能力の高さに驚かされました。会合の後、多くの人たちからユース参加者の重み、効果を感じた意見が寄せられました。

今回の常務委員会で感じた成果は次のようなことです。

１．リソース・モービリーセーションの必要性を多くのＹＭＣＡが感じたこと。

２．ユースの存在はＹＭＣＡの根幹に据えることができるという感覚。

３．運動強化が非常に大切で、みんなで協力する方向性への確認ができたこと。

まだあるかもしれませんが、私が感じた３つのことです。このほかに Dr.Abraham の礼拝での説教が非常に心に残りました。それは、環境に関する科学者との会話で、「世界の環境問題が大きな課題であるが、その原因はＣＯ２の発散による温暖化、環境破壊などと考えていたが、実は人間の私欲、個人主義が一番の問題であることに気づき、この分野は科学者でなく、あなたたち精神や道徳観の問題であり、科学者ではどうしようもないということである」という感想を聞いたという話でした。そもそも人間の始まりは、関係から始まりました。それは神と人と自然との関係です。これらの関係は、人間の私欲、個人主義により、利用する関係性に変化してきました。そこに気づき、見直すことが求められているという話でした。心にぐっと迫ってくる話でした。

こんなすばらしい話をする人がＹＭＣＡの指導者として身近な所にいるというＹＭＣＡの財産を大切にしていこうと思っています。

アジア・太平洋ＹＭＣＡ同盟 総主事　山田公平

主任主事　**Cristina A. Dalope & Jose Varghese**

アジア･太平洋YMCA同盟
23 Waterloo Road, 6th floor, Kowloon, Hong Kong
tel. 852-2780 8347, 2770 3168, 2783 3058; fax 852- 2385 4692
e-mail ~ office@asiapacificymca.org